Special Product Series Vol.52

冬に輝くだいだい色の宝石を家族と一緒に

道の駅いぶすき出荷者協議会の会長を務める迫田等さんは、出荷者の意見を聞きながら農産物や加工品の出荷に努めている。

そんな迫田さんは、開聞仙田に300アールの農園を所有し、家族3人でブドウやたんかんを生産・販売している。

自慢の逸品は35年前に先代から引き継いだ不知火だ。市内では開聞地域の一部の農家のみで生産されており、へたの部分がポコッと飛び出したシルエットが特徴的なかんきつだ。

不知火は春になると白い花が開花する。味や質を高めるため、9月までに間引きを行うが「たくさん花が咲いた年は、間引きの調整が難しい」と話す。収穫後も、翌年に備えて葉へのミネラル散布や土壌管理など気が抜けない作業が続く。台風被害により、例年の半分も出荷できないこともあったそうだが、自然相手に試行錯誤しながら、不知火一つひとつの成長を気に掛け、わが子のように育てている。

「どこよりも甘く、味が濃い不知火を届けたい」と真剣な表情で話す迫田さん。品質向上のため、新しい情報を聞くと率先して取り入れ、試食を繰り返しながら不知火の品質を高めてきた。

安全・安心な不知火を食べてもらおうと、所属するいぶすき農協開聞果樹部会でかごしま農林水産物認証制度（K－GAP）取得にいち早く取り組み、平成16年から16回連続で認証を受けている。

そのまま食べてもおいしく食べられるが、お薦めは常温で10日間程度保存した後に食べることだ。酸味が抜け、ますます甘味が濃厚になるそうだ。

現在、年間10トンの不知火を出荷しているが、今後は出荷量を増やし、より多くの食卓に不知火を届けたいと話す。

また、迫田さんの妻はお菓子づくりが得意。その腕を生かした自家農作物の加工品にも挑戦しながら、これからも家族で楽しく農園を経営していきたいとのこと。

コロナ禍の中、家族団らんのお供に、不知火を食べるのはいかがだろうか。

問商工水産課特産品振興係（道の駅いぶすき内）☎㉗9153

いぶすきまるごと博物館

vol.176

薩摩一宮：枚聞神社

開聞岳の麓に鎮座する、薩摩一宮、枚聞神社。神社の縁起によると、和銅元年（708）の創建と記されています。古文書での初見は、平安時代に菅原道真などが編纂した『日本三代実録』の貞観2年（860）3月20日条であり、「薩摩国従五位下開聞神加従四位下」と書かれています。これは、社に祭られていた開聞神の神階が、従五位下から従四位下に四段階昇叙したことになります。貞観16年（874）7月2日条には、開聞岳が旧暦3月4日の噴火後、占いの結果、開聞神に20戸を封じたと書かれています。

延長5年（927）にまとめられた『延喜式』には、「頴娃郡枚聞神社」と「枚聞」の文字が使われていることから、遅くとも10世紀前半には現在と同じ「枚聞神社」と記されていたことが分かります。

さて、枚聞神社は、古来より「海神　開聞岳」が祭られており、枚聞神社の奥宮として開聞岳の頂上には御岳神社が建立され、毎年開聞岳が噴火した旧暦3月4日に御岳神社例祭が行われています。また、江戸時代までは、枚聞神社に、海神豊玉彦（和多津見神）をはじめ、山幸彦のきさきである豊玉姫、塩土老翁など、海の神々などが祭られていた九宮がありました。

本殿は、慶長15年（1610）に島津義弘が再興したものを、天明7年（1787）に8代藩主島津重豪が42歳の厄払いで改築したものです。本殿の向拝柱（龍柱）は、龍と瑞雲が総朱塗極彩色で飾られており、その製作技術の高さが分かります。なお、枚聞神社の本殿は、県指定文化財に指定されています。

また、枚聞神社の宝物殿には、国指定重要文化財「松梅蒔絵櫛笥附属品竝目録共　一合」や、市指定文化財「枚聞神社琉球扁額7点」をはじめ、江戸時代から宝物として保管されてきた青磁瓶、つぼ、鏡、びょうぶなどが保管されています。

3月14日まで開催中の時遊館COCCOはしむれ企画展「海神　開聞岳展」では、「海神　開聞岳」や江戸時代に枚聞神社で祭られていた海の神々をはじめ、枚聞神社の祭祀や社殿配置などをパネルで紹介し、島津斉宣直筆の短歌や青磁瓶など、貴重な宝物も展示しています。

問歴史文化課文化財係
☎㉓5100

スポーツでまちを元気に Sports Commission Vol.9

スポコミ「11・12月の報告」の巻

ＳＣＩ（スポーツコミッションいぶすき）は、人口減少対策のひとつとして、スポーツ合宿、大会、イベントを誘致、開催することで指宿に訪れる人を増やし、地域交流や地域経済の活性化につなげる取り組みを行っています。

≪報告≫ＳＣＩが地域スポーツコミッションとして、スポーツ庁の認定を受け登録されました！

「第1回いぶすきワンツーサッカーフェスタ」の準備大会の実施状況です

Enjoy Football !!

11月28日㈯　サンシティホールいぶすき
市内小学生3チーム（1・2年生）

Go! Ibusuki !!

12月27日㈰　指宿市営陸上競技場
市内小学生９チーム（U-9、U-8、U-7 計20チーム）

問ＳＣＩ事務運営部☎㉓1014

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

燃ゆる感動 かごしま国体 かごしま大会 通信 Vol.19

開催決定

令和２年（2020年）に鹿児島県で開催予定であった第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」は、日本スポーツ協会の臨時理事会において、令和５年（2023年）に「特別国民体育大会」・「特別全国障害者スポーツ大会」として、鹿児島県での開催が決定しました。

大会の会期は、関係各所と調整中です。

本市での開催競技・会期は、2020年かごしま国体・かごしま大会を基本に、決定される予定です。

２年後の両大会の成功に向け、開催準備を引き続き進めていきます。皆さんの協力をよろしくお願いします。

問燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会
指宿市実行委員会事務局
（ふれあいプラザなのはな館内）☎㉓1014

市実行委員会ホームページ